一般社団法人 神奈川県作業療法士会

県士会ニュース

No. 222 [2023.8]

Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

Contents

TOPIC

4　一般社団法人神奈川県作業療法士会 第10回社員総会議事録

1　巻頭言
2　第 19 回神奈川県作業療法学会開催に向けて
3　現地開催プログラム・オンライン開催プログラム
6　絵本でみる作業療法
7　カナドラ！《県士会ニュース出張版》
8　生活行為向上マネジメント（MTDLP）推進委員会からのお知らせ
8　各部からの報告
11　理事会議事録
15　作業療法士募集
16　この作業をすると笑顔になる写真コンクール
16　事務局からのお願い
16　編集後記

巻頭言 | 会長挨拶

一般社団法人
神奈川県作業療法士会
会長　神保 武則

第 10 回一般社団法人神奈川県作業療法士会社員総会が 2023 年 5 月 14 日に対面形式で開催されました。お集まりいただきました代議員の皆様をはじめ、議長団の皆様方、会場設営の準備に携わって下さった会員の皆様方、事務局員の皆様方、本当にありがとうございました。総会の詳細は HP 等でもご確認頂けると思いますが、総会議題を主軸に「組織率の課題」「会員管理システムの構築」「事務局機能の強化」「OT 協会と当士会員の個人情報の取り扱いに関する覚書の締結」等、代議員の方々と共にこれからの県士会体制についての確認を致しました。皆様のお力添えにより、総会当日は滞りなく全体を通じとても和やかな雰囲気で終わることができたと思います。心より感謝申し上げます。

そして、総会後の臨時理事会において引き続き会長を拝命することとなりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。今期は、当県士会が将来に向け成長するために必要な情報や連携を強化していきたいと考えております。まずは会員管理のシステムを見直し、永年会員制度や準会員制度などの検討、人材育成に向けた取り組みと、質の担保としOT 人材バンクの設立に向けた構想と準備を整え、さらに養成校や他団体、また OT 協会や行政機関との情報共有と連携を強化していきたいと考えます。

政府は第 8 次医療計画（2024-2029 年度）の準備に取り掛かりました。人口減少や平均在院日数の地域差や 35 疾病評価指標の見直し等を検討しており、また 2024 年度には医療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等の報酬トリプル改定を迎えます。多角的に社会情勢の動きを鑑みると、皆さまの職場でも作業療法士の質的評価は問われてきていることと思われます。すなわち、各職場、各個人をはじめ、当県士会としても密な連携が取れる組織体制の強化が求められる喫緊の課題になります。

組織体制の強化には、受け手側の対応に追われるのではなく、神奈川県ならではの作業療法士たちが注ぐ「力：Power」を繋ぎ発信していくことです。従前から培った互いの「力：Power」は、様々な姿を形成し繋がっています。これらは専門職集団としての活動軸となり、我々の職域や地位、そして質的量的な確保に至るまで心強い社会的アピールに繋がります。作業療法を専門とする我々の専門職は、病院や施設に雇われるためだけに研鑽を積むのでは物足りません。定義に謳われているように“人々の健康と幸福を促進するため”に、如何にして行動と実践を確立しているのかが大きく問われます。ひとが生きるため、それも良質な生活を追求するため、作業療法士はなくてはならない専門職であることを是非アピールして頂きたい。

そして、当県士会の組織体制は会員の皆さまの努力を繋ぎとめられるように、また、これからの多様な課題に対し柔軟な対応ができるよう強化していきたいと考えております。縦割りではなく、横に連携をもつ組織体制の実現です。まずは 2024 年度を目標に改編準備を進めております。会員の誰もが構成員として支え合える仕組みが実現できるよう、是非とも御協力頂きたく思います。

最後に、神奈川県作業療法士会は、昨年設立 40 年の節目を迎えました。これからも 1 年また 1 年と歩みを重ねていきます。10 年先にはどのような作業療法士が集まってどんなことを議論しているのでしょう。100 年先には、どんな作業療法士たちがこの神奈川県にいるのでしょう。これからも皆さんと共に、膨らむ夢を一緒に語り合いましょう。

今後とも宜しくお願い致します。

第19回神奈川県作業療法学会開催に向けて

学会長
藤本 一博

作業療法とは何か？作業とは何か？との問いに、先人たちは「作業療法の核を問う」とのテーマで何度も学会で検討してきた。最終的には「作業が核である」との一つの回答を示しているが、いまの作業療法において「作業」が核であると、だれが認識しているだろうか。他職種の皆さんやクライエントの方々、行政に関わる方々は、作業療法は「作業」が核なのだと思っているだろうか。そもそも作業療法士間で「作業」が核であるという共通認識を有しているだろうか。過去、欧米作業療法のパラダイムシフトの中で医学モデルを中心としたパラダイムに移行した際、作業療法士の仕事は「機能という狭い関心」に留まり、仕事が浅くなり、作業療法士間の同一性が失われた時期があった。今日の本邦でも作業療法士は施設ごとに別々の作業療法士像を持っている状態にある。

この同一性が失われた状態を私はネガティブに捉えていたが、周囲を見渡すと同一性がないからこそ様々な試行錯誤が生まれ、新たな形が生まれていることに気がついた。神奈川県内には高齢者が輝く地域づくりを先進的な試みで実現している「ぐるんとびー」を始め、「遊びリパーク Lino'a」、「高次脳機能障害支援施設クラブハウスすてっぷなな」など「作業を核」とした新しい試みにあふれている。この神奈川の試みを全国に発信しつつ、全国に溢れる「作業を核」とした試みを集めた学会を開催しようと、多くの支援者たちに支えられ準備をしている。

同一性の失われた現代において、様々な多様性を持った試みを一度すべて受け入れ、作業療法とは何か、作業療法の強みは何か、作業療法は何ができるのかを、知って、考えて、行動してほしいと思った。その瞬間、多様性を意味する「ダイバーシティ」と、包含を意味する「インクルージョン」との言葉が浮かび、学会テーマを「ダイバーシティ＆インクルージョン」とした。旧態依然とし遅々として進まない「作業療法とは何か？」の疑問を、本学会を通して一歩進めていきたい。

そして作業療法士の働き方にも多様性が生まれている。私が働きだした 20 年以上前は土日休みが当たり前の時代であり、土日は研修会や学会が多く開催され、参加しやすい状況であった。しかし現代では不定休で勤務されている方も多く、育児、出産などのライフイベントが重なるなど、研修会や学会に参加しづらい環境に変化している。この変化に学会をどのように提供するのか、スタッフ間で検討した結果、その答えはハイブリッド開催であった。対面開催のメリットである「学会の熱意」や「参加者間の積極的な交流」、そしてＷＥＢ開催のメリットである「アクセスのしやすさ」や「時間を選ばない学び」の両方を得られるハイブリッド開催を、神奈川では初の試みとなるが、本学会では採用した。参加意欲のある〇Ｔを一人も取りこぼさない形を作り出したい。

しかし中には「学会はつまらないから行く意義を感じない」「料金を払ってまで行く意欲はない」などの声も耳にする。そういった方々は、個人の選択であり、個人の責任として、一つの多様性としてきたように思うが、本学会では一度こちらから歩み寄ってみたいと考えた。もし素晴らしい発表や講演に触れることができたら、「学会は参加する意義がある」「参加費を払っても学びたい」と変化するかもしれない。そうすることで、何か大きな変化が起こるかもしれないと考え、多くの方の助言や協力、そしてご理解を頂き、「10 月 15 日の対面開催は来場者全員参加費無料」としただけではなく、神奈川県作業療法士会に入会し、日々研鑽を積まれている皆様へは「オンライン開催分の参加費も無料」とすること、すなわち本学会のすべてのプログラム参加を無料とした。そこまでしても参加してもらいたい理由が本学会にはある。それは何か、学会参加後に語られる皆さんの感想そのものに答えが示されるはずである。学会参加に意欲のある方も、否定的な方も、まだ参加したことのない方も、我々が企画したプログラムを見ていただきたい。この学会から多くのイノベーションが起こることを期待する。

現地開催プログラム（2023年10月15日10:00～16:30　会場：茅ヶ崎市民文化会館）

● 開会式　10：00～10：10

● 学会長講演　10：10～10：40

OT におけるダイバーシティとインクルージョン	藤本　一博　（茅ヶ崎新北陵病院）

● 市民公開講座　10：45～11：45

誰もが「自分らしく生きる」を楽しむために ～世界も認めるぐるんとびーの試み～	菅原　健介　（株式会社ぐるんとびー）

● 口述発表　12：30～13：30

指定演題発表　5 演題	発表 7 分　質疑 3 分
若手演題発表　25 演題	発表 7 分　質疑 3 分

● 特別講演 ①　13：35～14：20

教育の実現への共創力 ～作業療法士の役割と学校への関わり方～	仲間　知穂（こども相談支援センター ゆいまわる）

● 特別講演 ②　14：25～15：10

作業で語る事例報告と臨床判断	齋藤　佑樹　（仙台青葉学院短期大学）

● シンポジウム　15：15～16：05

テーマ	座長
ダイバーシティ＆インクルージョン	大郷　和成　（遊びリパーク Lino'a）
シンポジスト	
藤本　一博　（茅ヶ崎新北陵病院）	仲間　知穂（こども相談支援センター ゆいまわる）
齋藤　佑樹　（仙台青葉学院短期大学）	神保　武則　（北里大学病院）

● ワークショップ ①　14：00～15：00

短対立スプリント	費用：2000 円	定員：30 名

● ワークショップ ②　15：05～16：05

カックアップスプリント	費用：3000 円	定員：30 名

● 閉会式　16：10～16：30

オンライン開催プログラム（2023年10月15日～11月9日）

● 学会長講演

OT におけるダイバーシティとインクルージョン	藤本　一博（茅ヶ崎新北陵病院）

● 市民公開講座

誰もが「自分らしく生きる」を楽しむために ～世界も認めるぐるんとびーの試み～	菅原　健介（株式会社ぐるんとびー）

● 教育講演

ジャンル	テーマ	講師（所属）
身体領域	脳卒中後上肢麻痺に対する目標設定と予後予測	竹林　崇　（大阪公立大学）
身体領域	作業で語る事例報告と臨床判断	齋藤　佑樹　（仙台青葉学院短期大学）
精神領域	メンタルヘルス領域における OBP ～評価からプログラム計画までのコツ～	清家　庸佑　（東京工科大学）
精神領域	うつ病による生活のしづらさ・生きづらさ ～社会生活を見据えた作業療法～	早坂　友成　（杏林大学）
高齢期	ものがたりを読み解く作業療法理論 ～高齢期作業療法の実践～	村田　和香　（群馬パース大学）
高齢期	作業を核とした認知症のある人への作業療法	小川　真寛　（神戸学院大学）
発達領域（神奈川）	特別支援学校の中心で、OT を叫ぶ ～内部専門家という新たな可能性～	前田智恵子　（神奈川県立相模原中央支援学校） 芝崎　律子　（神奈川県立座間支援学校）
発達領域（神奈川）	地域で子どもの育ちを支えよう！ ～放課後作業療法最前線～	大郷　和成　（遊びリパーク Lino'a）
地域	地域をデザインする作業療法	宮崎　宏興　（NPO 法人いねいぶる）
地域（神奈川）	アフターファイブから始まる作業療法士の地域活動	初鹿　真樹　（アコモケアサービス株式会社）
地域（神奈川）	知る・気づくから未来を育む～地域で希望の種をまく～	野々垣睦美　（NPO 法人脳外傷友の会ナナクラブハウスすてっぷなな）
地域（神奈川）	生活行為は在宅で！～訪問作業療法の展開～	木村　修介　（合同会社 RURA アイ･エル訪問看護ステーション）
職場教育	作業に焦点をあてたマネジメント	澤田　辰徳　（東京工科大学）
職場教育（神奈川）	動画マニュアルを新人教育に導入した効果	黒澤　駿　（茅ヶ崎中央病院）
作業療法理論	作業を活かす作業療法リーズニングの特徴を知ろう！ ～ OCP・OBP・OFP の観点から～	京極　真　（吉備国際大学）
作業療法理論	ADOC を用いたクライエントとの目標設定	友利幸之介　（東京工科大学）
作業療法理論（神奈川）	作業中心の Evidence-based practice の提案 ～作業モデルと医学モデルのハイブリッドな実践を目指して～	廣瀬　卓哉　（湘南慶育病院）
作業療法 2.0	学校関与における作業療法士の役割 ～教育の拡大と多職種連携の実現～	仲間　知穂　（こども相談支援センター ゆいまわる）
作業療法 2.0	はたらく人と「共に創る」作業療法	元廣　惇　（株式会社 Canvas）
作業療法 2.0	作業療法士の視点からの化粧支援 ～評価から治療までのコツ～	石橋　仁美　（東京工科大学）

● 口述発表　59 演題　（発表 7 分）

一般社団法人神奈川県作業療法士会　第10回社員総会議事録

令和５年（2023 年）５月 14 日午前 10 時 00 分、神奈川県横浜市中区寿町１－４神奈川県立かながわ労働プラザにおいて、一般社団法人神奈川県作業療法士会（以下、本会）第 10 回社員総会を開催した。

▶議決権のある正社員総数
（2022 年５月 14 日現在の代議員総数）…… 76 名
▶代議員の議決権の数（本会定款第 40 条より）
……代議員総数の３分の１以上の出席
▶議場出席代議員数…… 35 名
▶議決権行使書数…… 14 名
▶委任状数…… 26 名
▶議決権の総数（出席者総数）…… 75 名
▶総会役員　議長　田中　秀和
議事運営委員　金子　康
黒木　裕介
書記　小泉　雅哉
議事録署名人　水島加奈子
牧山　大輔
▶出席理事監事は次の通り

A 代表理事	神保　武則	B 理事	田中ゆかり
C 理事	金山　桂	D 理事	吉本　雅一
E 理事	玖島　弘規	F 理事	神田　崇央
G 理事	佐々木秀一	H 理事	奥原　孝幸
I 理事	佐藤　隼	J 理事	遠藤　陵晃
K 理事	佐藤　範明	L 理事	戸塚香代子
M理事	木村　修介	N 理事	澤口　勇
O 理事	望月　強併	P 理事	西川　航平
Q 理事	大郷　和成	R 監事	錠内　広之
S 監事	野々垣睦美		

19 名の理事・監事が議場にて出席。１名が欠席。その他、選挙管理委員長池田公平氏、顧問渡邉愼一が出席。

定刻になったので、吉本雅一事務局長は開会に先立って、開会のあいさつ、議案書の記載訂正、感染対策をはじめ注意事項について説明した。また議事録作成と記録に利用する目的で写真撮影と録画を行うことを説明し会場の承認を得て録画を開始した。

続いて議長団の選出に移り議長は田中秀和氏が立候補により選任された。議長の議事進行により議事運営委員は金子康氏、黒木裕介氏、書記は小泉雅哉氏、議事録署名人は水島加奈子氏、牧山大輔氏が立候補により選任された。

代表理事神保武則氏挨拶により社員総会の開会を宣言し、第 10 回社員総会を開始した。続いて、議事運営委員金子康氏より、総会成立及び総会議事運営案について以下のように提案し承認された。

Ⅰ．総会の成立

2023 年５月 14 日現在の代議員総数は、（76 名）で、午前 10 時７分現在、代議員総数のうち（35 名）が出席し、（41 名）が欠席、議決権行使書が（14 通）、委任状が（26 通）であり、議決権の総数は（75 名）で、総会開会の定足数、総会員総数の１/３以上を満たしており、本総会は成立していることを確認し報告された。また下記の議事運営案を提示し賛成多数で承認された。

1．本総会には、第１号、第２号、第３号、第４号、第５号、第６号、第７号、第８号議案の他には議案は提出されていない。
2．第１号議案及び第２号議案は 2022 年度の事業及び決算報告であるので一括して説明・審議する。
3．同様に第３号議案及び第４号議案は 2023 年度の事業計画及び予算案であるので一括して説明・審議する。
4．2023 年～ 2026 年度中・長期計画も併せて説明する。
5．本総会には定款・規程に関する議案が複数提出されています。第５号議案と第６号議案は一括して説明・審議する。
6．第７号議案、第８号議案はそれぞれ個別に説明・審議する。

Ⅲ．第１号議案　2022 年度（令和４年度）事業報告

2022 年度（令和４年度）事業報告について田中ゆかり副会長より説明した。質疑はなかった。

採決：賛成 75 名、保留０名、反対０名、賛成多数（1/2 以上）と認め承認

Ⅳ．第２号議案　決算報告ならびに監査報告

2022 年度決算報告について、財務部担当理事の玖島弘規氏より説明した。また決算書の訂正（積立金、次年度繰越金、支出合計金額の訂正）について説明した。野々垣監事より監査について説明し、活動ならびに収支が健全に行われていることを報告した。質疑はなかった。

採決：賛成 75 名、保留０名、反対０名、賛成多数（1/2 以上）と認め承認

Ⅴ．第３号議案　2023 年度（令和５年度）事業計画（案）

2023 年度（令和５年）事業計画（案）について神保武則会長より説明した。併せて 2023 ～ 2026 年中・長期計画（案）について説明した。

Ⅵ．第４号議案　2023 年度（令和５年度）予算（案）

2023 年度（令和５年度）予算（案）について、財務部担当理事の玖島弘規氏より説明した。

第３号議案ならびに第４号議案に対する質疑については以下のように行われた。

Ｑ１（国際医療福祉大学　出口弦舞氏）：会員の情報管理については、日本作業療法士協会と同様に会員の連絡先（メールアドレス）についても管理し、有効に活用していくことが良いと思うが、当会でも計画しているのか。またメールアドレス情報を活用するうえで、もし課題等があれば共有してほしい。

Ａ１（吉本雅一事務局長）：当会としては会員情報の再調査を検討している。日本作業療法士協会が進めている県士会員＝協会員の活動に向けていることもあるが、当会としてはどのような地域にどのような会員（経験年数、領域、地域事業への協力、保有資格など）が在籍しているのか把握に努め、当会の事業運営（作業療法士の有効活用や教育の推進等）に活用していきたいと考えている。今後会員調査を依頼することを検討している。

課題としては個人情報の保護に関する懸念があると予想されている。個人情報の取り扱いについては当会規程に基づき厳重に管理することに引き続き務め、情報提供と有効活用について会員のみなさまにご理解ご協力いただきたいと考えている。

Ａ２（旭中央総合病院　福留大輔氏）：会員増ワーキンググループの活動の効果について教えてほしい。

Ｑ２（吉本雅一事務局長）：昨年度検討した活動（新入会員向け研修、研修会参加非会員への入会勧誘、養成校への説明会、対面での新入会員オリエンテーション等）については、順次実施していく予定です。４月現在入会者数は 16 名であり、効果については今後の推移を確認しながら検証していく予定です。

Ｑ３（旭中央総合病院　福留大輔氏）：昨年度も養成校への説明会については実施されたが効果は出ていないのか

Ａ３（佐藤隼理事）：本活動については効果検証中です。今後も養成校とも積極的に連携し協働していく予定です。

Ｑ４（旭中央総合病院　福留大輔氏）：エリア化推進委員会の地域支援活動助成金事業は具体的にどのような事業が対象なのか。また予算案では助成金の計上がされていないが、事業費はどこから捻出するのか。

Ａ４（大郷和成理事）：会員同士による団体・グループが県民に対する活動を行う際に支援する事業となっている。2022 年度は実施までに至らなかったため、2023 年度から試行していきたいと考えている。今後公募をホームページ、ニュースで行い審査し実施できるようする予定である。

Ａ４（玖島弘規理事）：事業費については現段階では担当部署の試行段階ということも踏まえて雑費で計上している。今後実態に合わせて助成金としての計上を検討していく。

Ｑ５（国際医療福祉大学　出口弦舞氏）：新卒入会者については免許登録が４月下旬から５月上旬くらいとされているため、５～６月の入会者が増えることが予測されると思う。今後の活動に期待したいと思う。

Ａ５（吉本雅一事務局長）：ご意見の通り上半期がトレンドとなると感じている。積極的に入会活動を進めていきたい。ぜひ会員のみなさまからも所属施設での入会勧誘にご協力をいただきたい。

Ａ５（神保武則会長）：直近３年間の入会退会数推移について共有をいたします。新型コロナウィルス感染症流行前の 2019 年度は入会 219 名、退会 117 名で 102 名増となっています。2020 年度は入会 117 名、退会 118 名で１名減となっています。2021 年度では入会 159 名、退会 110 名で 49 名増、2022 年度（2 月まで）は入会 126 名、退会 117 名で９名増となっています。年度ごとに違いはありますが非常に厳しい傾向となっています。

第３号議案　採決：賛成 75 名、保留０名、反対０名、賛成多数（1/2 以上）と認め承認
第４号議案　採決：賛成 68 名、保留１名、反対０名、賛成多数（1/2 以上）と認め承認

Ⅶ．第５号議案　定款の修正について

一般社団法人神奈川県作業療法士会総会規程定款 26 条、第 36 条、第 48 条の一部修正について神田崇央理事より説明した。質疑はなかった。採決の前に、定款の変更の場合、「第 72 条 本定款の変更には、総会において代議員総数の半数以上であって、代議員総数の４分の３以上の議決権を有する者の同意を得なければならない。」ことになっている。代議員の半数以上が議決権行使あるいは委任状を提出していることが確認され採決に移った。

採決：賛成 75 名、保留０名、反対０名、賛成４分の３以上と認め承認

Ⅷ．第６号議案　規程の廃止について

一般社団法人神奈川県作業療法士会総会規程、選挙管理規程、理事会規則、委員会規則、費用弁償規則、組織規程の一部修正について神田崇央理事より説明した。質疑はなかった。

採決：賛成 75 名、保留１名、反対０名、賛成多数（1/2 以上）と認め承認

→P6へ続く

P5からの続き：一般社団法人神奈川県作業療法士会　第10回社員総会議事録

Ⅸ．第７号議案　一般社団法人日本作業療法士協会との「会員の個人情報の取り扱いに関する覚書（改定案）」の締結について

一般社団法人日本作業療法士協会との「会員の個人情報の取り扱いに関する覚書（改定案）」の締結について神保武則会長より説明した。質疑はなかった。

採決：賛成 75 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数（1/2 以上）と認め承認

Ⅹ．第８号議案　理事監事役員改選について

議長は、役員全員が本総会の終結をもって任期満了退任するのでその改選の必要がある旨説明した。池田公平選挙管理委員長から立候補と理事会推薦により理事 18 名、監事 2 名の定数となったと説明した。質疑はなかった。

採決：賛成 74 名、保留 1 名、反対 0 名、賛成多数（1/2 以上）と認め承認

理事	神保　武則	理事	玖島　弘規
理事	佐藤　　隼	理事	遠藤　陵晃
理事	金山　　桂	理事	神保　洋平
理事	田中ゆかり	理事	佐々木秀一
理事	佐藤　範明	理事	望月　強併
理事	青木啓一郎	理事	山勢健太朗
理事	吉本　雅一	理事	奥原　孝幸
理事	澤口　　勇	理事	神田　崇央
監事	錠内　広之	監事	野々垣睦美

なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

議長は以上をもって全議案が承認されたので閉会を宣し午前 11 時 35 分閉会し、議長団は解任となった。

議長団の解任後、新理事の自己紹介、退任する役員からのあいさつを行った。加えて 10 月より開催される第 19 回神奈川県作業療法学会の藤本一博学会長より学会についての説明と、より多くの参加協力についてお話をいただいた。また当会の渡邉愼一顧問よりご挨拶をいただいた。吉本雅一事務局長より、意見交換のあった会員情報の把握と個人情報の適正な管理について進めていくことと、代議員、会員のみなさまの協力のもとに当会の運営と発展に努めていくことをお願いし、一般社団法人神奈川県作業療法士会第 10 回社員総会を終了した。

上記の決議を明確にするために、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれには記名押印する。

令和５年（2023 年）５月 14 日
一般社団法人神奈川県作業療法士会第 10 回社員総会

議長	田中　秀和	認印
議事録署名人	水島加奈子	認印
議事録署名人	牧山　大輔	認印

第４回

絵本でみる作業療法

絵本を作り始めたきっかけは息子の誕生だった！

絵本を作り始めたきっかけは息子の誕生だった。幼い息子と関わりたいと思った私は、家の中にあるものを一緒に探す絵本を考えた。家の中にあるものを切り絵で表現し、その横に「〇〇どーこだ？」と簡単なコメントを載せた絵本だ。この絵本は２巻で終了したが、その後「絵本でみる作業療法」のアイデアとなった。ひょんなことから生まれた「絵本でみる作業療法」だが、今では息子に作業療法を説明するのに役立っている。

（文責：清水 拓人）

県士会サイトも是非みてね！
https://kana-ot.jp/wpm/p-book/

カナドラ！《県士会ニュース出張版》

～ 運転支援に携わる上で確認しておくべきこと ～

制度対策部自動車運転班　渡辺 謙斗

制度対策部自動車運転班のブログ「カナドラ！」（下記 QR コードよりブログチェックもお願いします！）の県士会ニュース出張版第 10 回となりました。運転支援を行なっていく上で、道路交通法を理解していくことも必要な事です。そこで今回は道路交通法の中で、自動車運転支援を行う際に確認しておいた方が良いことをお伝えします。

① 運転免許について

「自動車及び原動機付自転車を運転しようとする者は、公安委員会の運転免許をうけなければならない。免許は、第一種運転免許、第二種運転免許及び仮運転免許に区分する」

とされており、他にも大型・中型などの種類も分かれています。人によっては多くの種類を保有されている方もいると思います。これらの種類は、個別に適正検査・更新時に更新判断を受けます（例：普通自動車・普通自動二輪を保有している場合に、普通自動車のみを残し自動二輪のみ取り消すなど）。自動二輪の場合は倒れたバイクを起こすことができるかなどの適正も求められるため、保有免許の種類も確認し安全運転相談窓口に事前に伝えておくと良いです。

② 一定の病気について

「免許を受けたものはご自動車運転免許の取得および更新時に一定の病気に対する質問票の提出する必要がある」

この質問票での病気には、一定の病気とされている「脳血管障害」「てんかん」「統合失調症」等が含まれています。また、後述の診断書の提出を求められるものに含まれていない骨折等も、身体の一部が思い通りに動かせなくなったことがあるという観点でみると相談の必要性があります。この質問票に虚偽の記載（病気をしたことを隠す、など）をすると罰則が設けられています。

③ 診断書の提出について

「運転免許試験に合格した者又は運転免許を受けた者が一定の病気等に該当することとなったと疑う理由があるときは、臨時適性検査のほか、一定の要件を満たす医師の診断書を提出すべき旨を命ずることができる」

（更新時の）適正検査または臨時の適正検査を受検する際に、警察指定様式での診断書提出を求められる場合があります。診断書の有無も診断名や状況により変わってきますし、診断書様式も複数ありどこに該当するかの判断を受ける必要もあるので、安全運転相談窓口での確認が望ましいです。

④ 免許失効について

「免許を受けた者が免許証の更新を受けなかったときは、その効力を失う」

基本的に運転免許の更新満了日までに更新手続きを行わないと失効になってしまいます。しかし、やむを得ない理由（病気等）にて免許更新ができなかった場合でも、入院・退院等の診断書があれば失効せずに更新手続きが可能となっています。しかし手続きすればずっと延長できるわけではありませんので、事由が解決（退院）した段階で早めに連絡をする必要があります。

各々の詳細に関しては、警察庁ホームページや神奈川県警ホームページ等をご確認してください。

運転支援を行なっていく際に、基本情報としてまず運転免許の種類・更新時期を把握する事は大切な事です。免許の種類によっては例えばマニュアル免許や自動二輪の場合は下肢によるクラッチペダル操作が可能かなどの身体機能評価も必要になりますし、更新時期が入院中に過ぎる可能性があればまず管轄の警察署または免許センター（安全運転相談窓口　＃ 8080）に連絡をした方が良いなど対応が変わる可能性があります。このように、対象者の方によって支援全体の流れや内容が変化していきます。そして同じようなケースでも一概に同様の対応となるとも限りませんので、やはり一度安全相談窓口への問い合わせをしていただくよう対象者への案内をしていただくことが重要だと考えています。

その他、自動車運転に関わるご相談や共有事項があれば県士会自動車運転班宛にお気軽にご連絡ください！

今年度も自動車運転班は、研修会・ブログ等での情報発信を行っていきますのでよろしくお願いします！！

神奈川県の自動車運転に関するアンケートはこちら

ブログ版カナドラはこちら

連載

生活行為向上マネジメント(MTDLP)推進委員会からのお知らせ

～ MTDLPいち推し ～

今号より毎号 MTDLP に関して掲載をさせていただくことになりました。MTDLP を色んな異論な角度から切り込んでみますので、よろしくお願いいたします。

本委員会は、MTDLP を推進するのが目的です。OT 協会でも推進していることはご存じの方も多いと思います。

今期より本委員会担当の理事は教育部から移動してきた理事となります。実は、推進しなくてはいけない立場になって恥ずかしい思いをしています。何を隠そう私もまだ MTDLP 基礎研修を受講していないのです。研修会を計画することが重要な事業ですが、私がそれを受講したいと思っています。MTDLP 事例報告会での事例報告、そして MTDLP 実践者となるにはハードルがかなり高いですが、会員の皆様と一緒に進めていきたいと思います。

今後の研修会予定は、現在検討中です。今年度も以下の研修会を計画しています。決まり次第県士会ウェブサイトとこのページに掲載しますのでぜひともご参加ください。

★ MTDLP 基礎研修：2 回開催予定
★ MTDLP 事例報告会：申し込み状況により開催予定

他にも何かやるかも？！

（文責：生活行為向上マネジメント推進委員会　奥原 孝幸）

＼ 各部からの報告 ／

▶ウェブサイト管理委員会　県士会サイト　スペシャルコンテンツ紹介

（文責：ウェブサイト管理委員会　佐藤 範明）

県士会サイトには研修会情報や求人情報以外にも様々なスペシャルコンテンツがあります。今回も数多くあるスペシャルコンテンツの中から「作業療法お役立ちコンテンツ」を紹介します。

「作業療法お役立ちコンテンツ」は全 3 つのコンテンツが整備され、「必見！OT のすご技・アイデア集」ではオリジナルの訓練道具や自助具が紹介されています。「作業療法 Tips & PDF」では臨床に役立つ小ネタ・アイデア・PDF ファイルが保管され、「いつでも何回でも再学習☆応援講座」ではすぐに確認、見ればスッキリする再学習講座が備わっています。

いずれのコンテンツも日々の臨床に役立つものばかりです。3 つのコンテンツ、是非一度、直接ご確認ください。県士会サイトにはまだまだ愉快なコンテンツもあります。会員の皆様も是非、色々なコンテンツに触れてみてください。

図）【作業療法お役立ちコンテンツ】　閲覧方法（スマホ Ver.）

▶広報部対外広報班

（文責：清野 由香里）

活動：神奈川県作業療法士会活動説明会
対象：神奈川県内養成校３・４年生
日時：令和４年 11 月～令和５年３月

一作年度よりはじまった企画ですが、令和４年度は、ご協力下さった養成校も増え、計５校（国際医療福祉大学３～４年生･昭和大学４年生･茅ヶ崎リハビリテーション専門学校４年生・北里大学４年生・東京医療学院大学４年生　開催時期順）に県士会活動・入会説明会を開催致しました。

開催時は感染対策に配慮し、国家試験時期に配慮して日程調整を行いました。

養成校教員の皆様ご協力ありがとうございました。説明会では、職能団体所属の意義（個人のメリット・職能団体としてのメリット）・会長からのメッセージ・県士会活動・入会方法　等を約 30 ～ 40 分の時間を頂きお伝えしました。

各都道府県作業療法士会の中でも、神奈川県の本活動は先駆的に実施しており、組織率向上の為にも有益な職能団体の活動として注目されております。今後は、実施効果も含め、更に活動を進めて参りたいと考えています。

▶エリア化推進委員会

（文責：大郷 和成）

エリアミーティング絶賛開催中！

会員の皆さま、こんにちは！

エリア化推進委員会では「顔が見えるナナメの関係づくり」を目的に、会員の皆様が集まれる場を定期的に開催しております。2023 年度は県内を 8 エリアに分けて､エリアごとに集まれるエリアミーティング（オンライン）を開催しております。

参加無料ですので、お気軽にご参加ください。皆さまと OT の楽しさや魅力を語り合えることを楽しみにしております。

【開催スケジュール】

7月：横浜エリア	8月：県央エリア
9月：川崎エリア	10 月：横須賀三浦エリア
11 月：湘南東部エリア	12 月：県西エリア
1 月：相模原エリア	2月：湘南西部エリア

地域活動を支援するトライアル事業がスタート！

県士会では会員同士による地域活動の後押しを目的とした「地域支援活動助成金 (仮)」の整備を進めております。この助成金は会員が神奈川県内で神奈川県民を対象に地域活動を実施する場合に、その費用の一部を助成するものとなります。令和 5 年度はトライアル事業として、希望される会員の方々と二人三脚で進めていきたいと思っております。地域活動に取り組まれている方、取り組んでみたい方はぜひご活用ください。詳細につきましては 8 月上旬に県士会 HP でお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

エリア化や助成金についてご質問がある方はエリア化推進委員会までご連絡ください。

写真は2019年のオフライン開催時の様子

各部からの報告

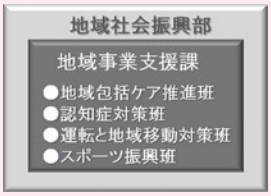
▶地域リハビリテーション部

（文責：戸塚 香代子）

こんにちは、地域リハビリテーション部です。

2023 年 6 月 23 日（金）の 19 時から、日本作業療法士協会主催　第 1 回　地域事業支援会議がオンラインで開催されました。約 200 名の作業療法士が全国から参加され、当会からは吉本副会長ら 5 名が参加しました。会議では協会の新体制の報告と 7 つの重点活動項目、その他、地域社会振興部の実行業務について説明やグループワークがありましたので、今回はそのご報告をいたします。

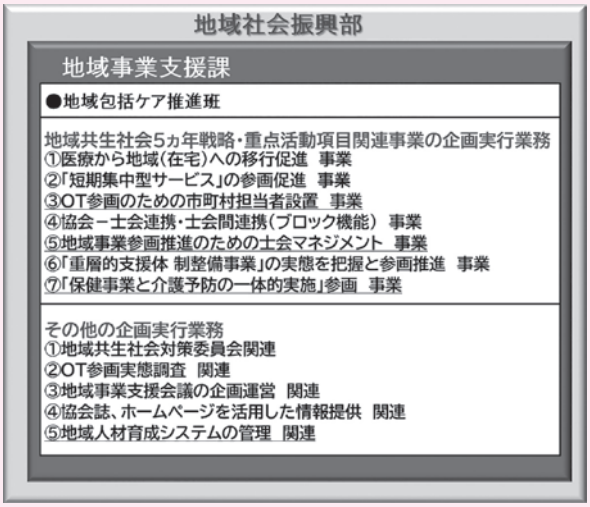
日本作業療法士協会からの報告



日本作業療法士協会では今年度より、地域社会振興部が新設され、旧地域包括ケア推進委員会は地域包括ケア推進班として活動することになります。

新たに示された地域共生社会 5 か年戦略のスローガン「人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法」を目指し、重点活動項目と第四次 5 か年戦略関連活動を積極的に進めていく方針です。

今年度の重点活動項目として、OT 参画のための市町村担当者設置事業、協会－士会連携・士会間連携（ブロック機能）事業、「保健事業と介護予防の一体的実施」参画事業、そして第四次 5 か年戦略関連活動として、短期集中型サービス以外の医療から地域（在宅）への取り組み促進事業、「短期集中型サービス」の参画促進事業、地域事業参画推進のための士会マネジメント事業、「重層的支援体制整備事業」の実態を把握と参画推進事業等を、部員 23 名体制で活動することになっています。



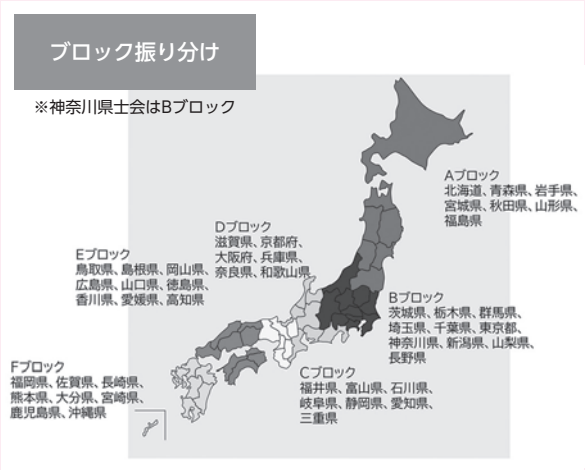
会議の報告

本会議では、今回より新たにブロックの区分を一新し、下図のように 6 つに分けてグループワークを行いながら、各都道府県の士会が取り組んでいる地域社会事業に関する課題の共有や意見交換を行うことになっています。

今回のグループワークでは、自己紹介と今後の協会－士会連携について話し合いました。

中心として話し合われたのは、協会からの情報をいかに士会、士会員に伝達するかでした。各士会での伝達方法を確認しながら、会員に情報が届きやすくなる方法について、様々協議がなされました。

当県士会では、これまで同様にニュースレターや HP、SNS などの複数の媒体を用いて、会員の皆様人一人に情報発信を行っていくことになっています。合わせて、会議で得られた情報を含めて、広く会員の皆様と共有できるように検討を進めていくことになっています。



編集後記

今回の会議は協会における新体制を踏まえての新たな部の新設と、今年度初めてのキックオフ会議でした。旧地域包括ケア推進委員会当時から参加されていた方から、初めての方なども多く、また作業療法の経験のベテランから若手まで幅広い方が参加し、活気あふれる議論の中、無事に第 1 回の会議は終了いたしました。

今後も地域リハ部では、会議の報告や研修の企画等を含めて随時 HP 等で情報の発信を行なっていきます。ぜひ、多くの会員の方々と研修やミーティングを通じて活動を共にできることを楽しみにしております。

▶学術部

（文責：宮崎 道輝）

学術部研究助成班主催の研修会『研究に一歩踏み出してみたい方必見！研究助成班が伝える 研究プロセス ― 過去の研究内容を通して ―』の活動報告

2023 年 6 月 10 日の学術部研究助成班主催の研修会は Zoom によるオンラインセミナーで開催され、20 名（県外 OT や PT の方 10 名含む）の方が参加して下さりました。今回は本学術部で研究助成事業を立ち上げられた作業療法士の石川哲也先生をお招きして、研究活動を行う為に必要な事やそのプロセスに関しての講義をして頂きました。

講義内容として、研究助成の概要に始まり、学会・論文や研究審査の過程、計画書の書き方、研究テーマの選び方に関して順を追って説明して下さり、研究活動を行ったことのない方だけでなく、既に取り組んでいる方に対しても非常に分かりやすい内容となっていました。又、過去の研究紹介として、これまで研究助成を受けてこられた県士会員の研究に関して、それぞれの研究のテーマの選び方についても丁寧に解説して頂き、参加者がイメージしやすい内容になっていたと思います。

講義後の参加者からの質問ではリサーチクエスチョンの考え方や研究プロセスの学び方などに対し、先生の実体験も踏まえてお答えして頂き、「研究活動がより身近に感じることが出来た」、「研究を前向きに取り組んでいきたい」などの感想が参加者から寄せられました。

又、講義終了後のアンケートにおいて研究助成事業に関して参加者の約 65% から「興味がある」という回答が得られ、学術部として本事業の認知度向上に努めていくと共に、研究活動に関する研修会の開催を今後も実施していきたいと思います。

2024 年度の研究助成事業の研究課題も募集する予定ですので、県士会員の皆様からの応募お待ちしております。

理事会議事録

★ 2022 年度　第 12 回理事会　議事録　2023.4.20

日　　時：2023 年 4 月 20 日（木）19：01 ～ 21：35
場　　所：オンライン開催のため各自自宅・職場
出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、吉本雅一（事務局長）、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、木村修介、戸塚香代子、澤口勇、西川航平、大郷和成（17 名）
欠席理事：金山桂（副会長）（1 名）
出席監事：錠内広之、野々垣睦美（2 名）
その他出席：池田公平（選挙管理委員会　委員長）、藤本一博（第 19 回神奈川県作業療法学会　学会長）

Ⅰ．会長より挨拶

今期最後の理事会となります。本日も円滑な議事に協力いただき来期に向けての準備を行っていきましょう。本日は藤本学会長にもお越しいただいております。

Ⅱ．トピックス

1．第 19 回神奈川県作業療法学会について（藤本学会実行委員長）
学会の運営、企画、内容の詳細について報告。ハイブリッド開催、一般演題の 3 段階募集、徹底的な広報戦略、多くの講師陣によるオンデマンド講演、ウェブシステムの構築のほか、会場参加に関しては全て無料とし、オンライン参加に関しては県士会会員特別枠を設けて無料で参加できるようにしたい。当会としては収入に関する不安材料があるが、今回の学会の試みについては今後検証を行うことを念頭に承認。学会における会員増活動や財務管理については理事会で検討し明確化する。
2．役員選挙報告と今後の運営（選挙管理委員会　池田委員長）
立候補、推薦を含めて理事 18 名、監事 2 名の候補を確認。社員総会議案として提出済。社員総会後の臨時理事会での三役互選に関して取りまとめを行う予定。

Ⅲ．審議事項について

1．神奈川県保険医協会市民公開講座　後援申請・PR 協力について　→承認
2．第 31 回在宅医療・介護セミナー　後援申請・PR 協力について　→承認
3．第 6 回神奈川県臨床作業療法大会　大会長について
　→　鶴巻温泉病院　木村達氏　承認
4．選挙管理委員会について　→承認

Ⅳ．報告事項について（各部署・理事）

【各部署】

1．事務局
（1）2022 年度 神奈川県障害者スポーツ協会委員報告
古賀誠実行委員より 2022 年度活動報告あり共有。
（2）事務局について
事務局員の退職の時期に関して変更あり。そのため採用活動に関しては一旦白紙として、改めて来年度初めに事業計画変更を提案する予定。事務局員の増員、専門家導入など多角的に検討し提案する。
（3）第 10 回社員総会について
総会までと総会当日のスケジュールについて確認。
2．財務部　監事
（1）2022 年度期末監査報告について
概ね健全に事業が遂行されているが、会計監査マニュアルに基づいた財務手続きを確実に行うよう担当理事は引き続き管理監督に努めてほしい。
3．福利部
（1）神奈川県作業療法士会　功労表彰に関して
候補者より辞退の連絡をいただいた。功労表彰者なし。
4．規約委員会
（1）代議員の任期中の辞任ついて
1 名代議員＝正会員が 3 月に退会され辞任となった。規程上運営に支障が無ければ問題はないことを確認。
5．学会評議委員会
（1）第 19 回神奈川県作業療法学会について
シンポジウム企画等の実施中の空き会議室の有効活用について募集。
6．公益法人化対策委員会
理事役員向けの研修会を実施。任期末の開催にも関わらず多数の役員に参加をいただいたことに感謝。今後も引き続き研修会に関しては継続して実施する予定。
7．エリア化推進委員会
（1）代議員ミーティング実施報告
3 月 27 日に実施。13 名の代議員の参加があった。顔合わせと意見交換を実施。県士会でも課題として議論されている「会員数の減少、組織率の低下」について話題にあがった。各代議員も敏感に感じ取っており、今後の動向に関して危惧している。この課題を共有しながら県士会の活動に沿って協力をしたいと意見をいただいた。

【理事】
1．田中副会長
（1）謝金規程に関して
日本作業療法士協会より改定された謝金規程の公表があり。当会としても来年度に謝金規程に関して検討する。
2．神保会長
（1）3 士会長会議に関して
3 月 29 日オンライン開催。作業療法士、理学療法士、言語聴覚士各会より、会長を中心に主に執行役員が出席。顔合わせ、これまでの本会の目的と経緯の共有、リハビリ手帳に関する相談、災害対策、神奈川県地域リハビリテーション 3 団体協議会についてなどを相談検討。その他言語聴覚士会より法人化に向けた相談等があった。
（2）研修会の開催方法の方針に関して
来年度は予算計画を超えないことを前提に、オンライン、対面形式等を検討し実施することとする。
（3）組織改編に関して
各カテゴリでの話し合い結果を基に再提案。組織図案の見直しを図った。今後は本提案を基に検討し決定する。
（4）今期の振り返り総括について
この 2 年間の活動を振り返り改めてみなさんに感謝をいたします。会長として組織と向き合うことを念頭に活動を行ってきました。各部署ヒアリングを複数回行い、月 1 回理事会を開催するなど、お互いの理解を深めることを念頭に進めてきました。十分に理解を深めることまで至らなかったかもしれませんが、日々の理事会活動だけでなく共に 40 周年を迎え様々な企画を行い祝福できたことを大変嬉しく思っています。2 年前の会長選に関して質問や助言をいただきました。不十分な理解により発言したことで不快な印象を与えたことに関してはお詫びを申し上げます。今後も引き続き内省しながら当会ならびに会員と向きあっていきたいと考えています。不十分な会長であったと思いますが、これからも当会の発展に向けて、みなさんと手を繋いで取り組んでいきたいと思います。今後継続される理事役員のみなさん、今期で辞する理事役員のみなさんに改めて感謝するとともに、来年度新規に理事役員候補のみなさんにこれからも当会に協力いただけることをお願いしたいと思います。またいつも当会の活動を支えて下さっている事務局員のみなさんにも深く感謝をいたします。最後に当会は会員と向き合う組織として引き続き盛り上げていけるよう協力をお願いします。ありがとうございました。

Ⅴ．その他　連絡事項等

1．議事録署名人について
吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、野々垣監事、玖島理事、佐藤隼理事。
2．監事より
（1）野々垣監事
学会の運営に関して様々な意見がありました。この内容について掘り下げて検討していきましょう。今期は対面での理事会は開催できませんでしたが、来期は対面形式だけでなくオンラインの利点も上手に活用しながら運用していきましょう。
（2）錠内監事
理事役員を継続される方、今回退任される方を含めて、今後も県士会の活動を引き続き応援してください。2 年間お疲れさまでした。

以上（文責：事務局長　吉本 雅一）

★ 2023 年 5 月 14 日　臨時理事会議事録

日　　時：2023 年 5 月 14 日（日）12：12 ～ 13:35
場　　所：労働プラザ 9 階特別会議室
参 加 者：神保（武）、田中、金山、吉本、玖島、佐々木、奥原、佐藤（隼）、佐藤（範）、澤口、遠藤、望月、

神田、青木、山勢、神保（洋）、錠内、野々垣（敬称略）池田選挙管理委長、廣瀬選挙管理委員
欠 席 者：野本・和田

〈審議事項〉

1．三役立候補者の確認

池田選挙管理委員長から三役互選に関する手順の説明がなされたのち、会長、副会長、事務局長の立候補を募った。

1）会長立候補者
神保武則理事（北里大学病院）

2）副会長立候補者
田中ゆかり理事（藤沢市医療保健センター）、吉本雅一理事（湘南鎌倉総合病院）

3）事務局長立候補者
玖島弘規理事（横浜旭中央総合病院）

2．会長の選出

神保理事が立候補理由を述べたのち、質疑応答を行った。

1）立候補理由
「成長する県士会」の具現化・推進を図っていく。それにあたり、永年会員制度や人材バンク作成による人材の流出を防ぐ。次に、行政との信頼関係を築き、会員にわかりやすく提示したい。また、事務管理整理・働き方改革を行い、県士会活動が永続的に行うため、足並みをそろえて推進していく。

2）質疑・応答
金山理事：行政との信頼関係にあたり、各市町村へは会長自ら赴くのか。
→エリア化や地域リハ等の各部門を通じて行政の方々とやりとりしたい。
澤口理事：作業療法士が働く職域は幅広くなっている。県だけでなく政令指定都市には足を運んでほしい。可能であれば担当となる部門の理事にも声をかけてほしい。
遠藤理事：人材バンクのイメージをどう考えているか。
→育成機関の課題（育成できない）はあるが、育成する者が退職してしまう課題もある。退職後、退いてしまう優秀な会員も多く、人材バンクで引き留めて産休・育休等人手不足の現場への派遣を検討したい。
遠藤理事：トリプル改定について県士会としてどう考えるか。
→介護・障害分野にフォーカスされていくだろう。地域共生社会の実現に向けて情報をアップデートしていく。
また、2024～2027年の第8次医療計画では、生産人口の減少も考慮されている。会員管理を通じてサポートできる体制づくりを考えている。
遠藤理事：会員への情報発信をお願いしたい。情報を得るために他団体ともパイプを強くしていってほしい。県から委託事業について打診されることもあるので会員情報についての把握も進めてほしい。
佐々木理事：組織改編・エリア化・公益法人化のビジョンをどう考えるか。
→速やかな組織改編を行う。効率化・事務局機能強化のため、会員管理のシステム化を目指していく。また、協会員＝士会員については遅くても1年かけて伝達していく。新理事に対してはオリエンテーションを通じて今までの流れを伝達していく。HPやニュースを通じて進行状況を会員に伝えていきたい。
⇒立候補者が定数のため無投票にて当選となる。

3．副会長の選出

くじびきにより田中理事、吉本理事の順で候補理由を述べたのち、質疑応答を行った。

1）立候補理由
田中理事：「会員一人一人がつくる県士会」を目標に、県士会活動に参画しやすい組織づくりをサポートしていきたい。縦割り組織から横ぐし・横のつながりを強化し協同していく。理事一人ひとりも県士会に積極的に参画していく意識を高める。行政との連携では、今まで関わっていない地域に赴きたい。

吉本理事：今まで福利部で会員増に関することに取り組み会員と向き合ってきた。また財務部ではお金の流れという視点で当会全体を見渡し継続して活動ができるシステムづくりを推進してきた。昨年度までは事務局長として各部署との連携を通じて、様々な課題に対して向き合い、理事会とともに再構築してきた。また対外的な活動を他団体と連携し、地域で活躍できる人材育成も検討していきたい。現在、理事は部長を兼任しているが、各部署の運営に時間を割かれてしまい当会の運営全体に積極的に関わる事ができないこともあることも課題としてある。理事全員が当会の代表として適切な運営に関わり活動していけるようサポートしていきたい。

2）質疑・応答
佐藤(隼)理事：田中理事にお聞きしたい。女性の県士会活動の参画について考えをお聞きしたい。
田中理事→オンラインの活用により、子育て中でも参加しやすくなっているように思う。学会や研修会の参加を通じて県士会に参画してほしい。
その一方で、理事に関しては業務量も多く、家族のサポートが必要。介護・育児・仕事とたくさんの役割があっても参加しやすいサポート作り、単発イベントへの参加などの環境作りもしていきたい。
佐藤(隼)理事：副会長として三役と理事をつなぐマネジメントについて両理事にうかがいたい。
田中理事→ワーキングを通じて、理事間の協同は行

えた。今後は部員もまきこんだ部門を越えた企画も考えたい。財源の問題もあり、オンラインを活用する。

吉本理事→事務部門の横のつながり強化し協働していきたい。協働することで業務の効率化が図れると考える。また研修会や情報発信という対外活動部門とも協働について検討したい。

佐藤(隼)理事：代議員などのつながりも含めて検討していただきたい。

遠藤理事：会員増のために、養成校とのつながりを強めていってほしい。養成校だけでなくセラピスト数が多い病院とも協力体制について検討してほしい。

田中理事→部員で活躍している会員を取り込みたい。管理者レベルの集まりは継続したい。

吉本理事→代議員からも会員の減少を危惧する声がある。養成校だけでなく代議員をはじめとした会員の皆さんにも、新人職員向けに当会入会への案内について協力をいただきたい。また、新入職員自身も業務以外に余裕がないこと多く、職場だけでは入会促進は限界がある。県士会の活動も通じて作業療法士の教育育成を図り、現場の職員が安心して働けるよう支援を進めていきたい。

遠藤理事：新カリキュラムがはじまり、より卒後教育が重要になる。管理者レベルと県士会がつながることが大事ではないか。

⇒立候補者が定数のため無投票にて当選となる。

4．事務局長の選出

玖島理事が立候補理由を述べたのち、質疑応答を行った。

1）立候補理由

法人管理が重要になってくると考える。基盤作りが必要。会員・学生・県民と幅広く関わる上でも裏方としてサポートしていきたい。そのためにも効率化やタスク・シフトの検討、専門家の導入について各部門から意見を聞きながら進めていきたい。

2）質疑・応答

澤口理事：三役会の回数が多く、負担が多いように思う。運営委員会のような理事を活用できるシステムづくりやソフト面も検討してほしい。

→審議内容を精査し、内容によりメール審議、理事会審議等と使い分けていきたい。

佐々木理事：会員システムの構築について。学術部はイノベーションが進み、負担が減った。必要な経費について精査し、導入に向けた金銭面の構築も必要では。

→会計ファイルはエクセルを用いるなどアナログな状況。財務部や各部門と協力しながら進めていきたいが、情報があれば共有してほしい。

吉本理事：専門家の導入について、具体的にはどのように考えているのか。また専門家の導入に関して、財務面だけでなく、事務局業務や会員情報の取り扱い等についてもどのように考えているか。

→税理士、弁護士、行政書士等、必要に応じて検討したい。会員数の増加に伴い情報更新に時間がかかっているためシステムの効率化や協力を得ながら改革していきたい。

⇒立候補者が定数のため無投票にて当選となる。

以上より、会長に神保武則理事（北里大学病院）、副会長に田中ゆかり理事（藤沢市医療保健センター）と吉本雅一理事（湘南鎌倉総合病院）、事務局長に玖島弘規理事（横浜旭中央総合病院）が決まった。

5．会長挨拶

神保会長より以下の挨拶がある。

会員や県民と向き合うことを強化していきたい。また協会は 2024 年までに協会員＝士会員、2025 年からシステム統一を行うといっているが、詳細は不明。全国 6 番目の会員数となっている。組織力が必要。皆で協力しながら楽しい理事会運営を行っていきたい。

6．個人情報取扱業務概要説明書について

神田理事より、総会で「一般社団法人日本作業療法士協会との『会員の個人情報の取り扱いに関する覚書』に関する締結」について承認されたことを受け、当会の個人情報取扱業務概要説明書の変更について審議した。

「実現促進」という文言についての確認や目的の補足、個人情報の提供方法について質問があった。⇒賛成多数で承認された。

7．その他

1）次回理事会日程

6 月 15 日（木）19：00 ～オンラインにて開催予定。部員の承認予定。

2）予算の執行について

現在事業を引き継いでいるものに関しては支払いが可能であるが、それ以外は立替で対応してほしい。

3）監事から

錠内監事：滞りなくすすめられた。会長は 2 期 4 年が一つの区切りであることが多い。次の 2 年で課題を解決するよう会長にはますます頑張ってほしい。会長でないと判断できないこともある。三役には忌憚のない意見交換、理事には意見を会長に伝えることを望む。組織改編によって事務局の負担が増すことが予測されるため、業務分担は進めてほしい

野々垣監事：ワークライフバランスという観点からも事務局長の負担は大きいように思う。皆で協同してほしい。

以上（文責：廣瀬選挙管理委員、金山）

求人案内　作業療法士募集

株式会社リ・ハピネス
児童発達支援・放課後等デイサービス
すりーぴーす

子ども、養育者、そして作業療法士が一緒の方向を向き、行う支援を目指しています。小児分野に興味のある方、お待ちしております。

募集人員：常　勤　１名
非常勤　若干名
待　　遇：常　勤）当社規定による。経験年数加算。
非常勤）時給２千円～。応相談。
勤務時間：9：00 ～ 18：00　非常勤は応相談。
休　　日：週休２日、祝日休
（年に数回、イベントで休日出勤あり）
交　　通：神奈中バス“和泉短大前”徒歩５分。
応募方法：電話・E メールにてお問合せください。
株式会社リ・ハピネス
児童発達支援・放課後等デイサービス
すりーぴーす
〒 252-0225
相模原市中央区緑が丘 2-20-10
ヒバリーヒルズ１F
TEL：042-704-6536
FAX：042-704-6537
E メール：info@re-happiness.co.jp
担当者　松尾

医療法人 興生会　相模台病院

募集人員：常勤　１名（精神科での業務）
施設概要：病床 306 床（一般科 151 床、155 床精神科）精神科病棟と認知症病棟および同一法人内の訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーション、病院の疾患別リハビリに配置し、病院内や関連施設の老健リハスタッフとも連携しながらリハビリの提供を行っています。
給　　与：当法人規定による
福利厚生：各種社保完備、退職金制度有り。
勤務時間：8：45 ～ 17：15（休憩１時間）実働 7.5 時間
休日休暇：シフト制（年間 122 日※年度によります）
応募方法：履歴書、職務経歴書、資格証の写しを郵送してください（できましたら電話又はメールでご連絡ください）
交　　通：小田急線「小田急相模原」より送迎バス通勤利用可能（徒歩 15 分）など。
応募方法：医療法人　興生会
相模台病院
〒 252-0001
神奈川県座間市相模が丘 6-24-28
TEL：046-256-1047(人事課)
E メール：humres228@sagamidai.or.jp
HP：http://i-koseikai.com
担当者　人事課　金子

福利部主催　この作業をすると笑顔になる写真コンクール結果発表!!!

昨年度開催しました写真コンクールの結果をご報告いたします☆ ご応募いただいた皆さま、ありがとうございました！

最優秀賞

じんべい様「継承～布わらじづくり～」

認知症になっても自分の得意はかわらない。認知症であっても健康な若者より秀でたスキルはある。支援するーされる関係を覆す象徴的な１シーンです。

優秀賞

かず様「遠足の時、子ども達のためにお弁当を作る」

私の双子の子ども達は年少クラスになり遠足が始まりました。普段から料理担当は父親（私）ですがお弁当の時の子どもたちのテンションはいつも上がります。「たこさんウインナーにしてね！」「おにぎりは２つ！」と日々要望も多くなり言葉で伝えられるようになった子ども達の成長も感じます。「お弁当作り」という作業を通して子供の成長も見られ、さらにそんな成長している姿を見る私は、朝から元気をもらって出社しています。

優秀賞

楓の風デイサービス森野様
「こだわっていた一眼レフから持ち替えたスマホで撮影」

脳梗塞で麻痺が残り、一眼レフでの風景撮影が出来なくなり一度は諦めた。デイサービスを利用し始め、過去の作品をスタッフ、他の利用者に見せ、関心を持ってもらい改めてチャレンジしたい気持ちが湧き、スマホの性能でも画角を意識して撮る事を決心。季節ごとにデイサービス周囲を歩き撮っている写真である。今では自宅でも歩く範囲を広げ、新たに元気の源を手に入れた。

事務局からのお願い

- **届出内容を変更される方**　住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『登録内容の変更届』を ①郵送　②FAX　③電子メール（kaiin@kana-ot.jp）にてご提出願います。（随時受付）
- **休会される方**　来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**（末日消印有効）までに ①『休会届』と ②『証明書』を郵送でご提出願います**（FAX不可）**。
- **退会される方**　年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を ①郵送　②FAX　③電子メール（kaiin@kana-ot.jp）にてご提出願います**（上記日必着）**。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ公式**ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。
なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

編集後記

今回のニュースは大ボリュームでのお届けでした。神奈川県作業療法士会はいま、選挙も終わり、理事の方々も新しい方が加わったり、継続の理事の方も役割が変わられたりして、新体制になっていると思います。感染症もネクストステージに移行し、再び対面での会員のやり取りが行われ、団体としてもあたらしい「これから」が始まる予感です。ニュースも今年度から 10 月号の送付が再開します。紙面でも WEB でも、状況に応じて便利にご利用いただけるのではないかと期待しております。（ぴぐめい）

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース

〈222号〉2023年8月発行（年4回発行）

発行責任者　神保 武則
編集責任者　佐藤 隼
編 集 担 当　出口 弦舞（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科）
山岡 洸（湘南慶育病院）／佐藤 愛（悠の木株式会社）／丸岡 ちひろ（済生会横浜市東部病院）
松井 洋鷹（渕野辺総合病院）／碇屋 瑛理（佐藤病院）／岩居 洋輝（佐藤病院）
印刷　発送　株式会社髙陽印刷所
事　務　局　〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号
TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金　10：00～15：00
メールアドレス：jimu@kana-ot.jp
一般社団法人　神奈川県作業療法士会ウェブサイト
https://kana-ot.jp ➡ 作業療法　神奈川　検索
Facebook　https://www.facebook.com/kaotwebkan
Twitter　https://twitter.com/kaotwebkan